

日 介 発 第 1 6 0 号
平成 2 3 年 3 月 2 9 日

都道府県介護福祉士会会長 殿
(被災地域以外)

社団法人 日本介護福祉士会
会長 石 橋 真



東北地方太平洋沖地震への対応について

当会の災害対策本部では、平成 23 年 3 月 25 日から 27 日の 3 日間、石橋会長、岡田災害対策副委員長及び川端事務局職員が宮城県（石巻市、東松島市）の状況を視察してまいりましたので、現況及び今後の支援対策の予定を報告いたします。

(現況)

宮城県介護福祉士会は、災害直後から今出川会長をはじめ十数人のボランティアが精力的に支援活動を行なっている。

(避難所の状況)

- ・ 現地の病院のスタッフや、その他多くの団体がボランティアとして入っているため、日中の人手は足りている。
- ・ 老人施設については、老施協、老健協等が対応している。ただし、施設が避難所として受入をしているところもあり、今後、対応が必要になる可能性もある。
- ・ おむつや毛布等救援物資は足りているが、食事については避難所によって差があるようである。

(今後の支援予定等)

- ・ 活動地は、当面、石巻市及び東松島市の各避難所とする。
- ・ 活動拠点は、本部が県自治会館 2 0 8 号室、宿泊先が東北自治研修センター（予定）としてそれぞれ確保されている。
- ・ 宿泊先には、簡易ベッドがあり、電気、水道は復旧したが、まだガスが使えない状況にある。
- ・ 活動時間は、1 6 時から翌朝 9 時までとするが、避難所の状況によっては、毎日宿泊先に戻ることが困難な場合も想定される。
- ・ 活動内容は、トイレ誘導や体位交換等の介助が主となる。
- ・ 宿泊先から各避難所等への移動については、宮城県介護福祉士のスタッフが行う。

(ボランティアの派遣等)

- ・日本介護福祉士会災害対策本部第1陣として、三浦副会長、舟田常任理事外数名が平成23年4月3日から1週間の予定で現地入りし、支援活動を行う。

併せて、今後のローテーション構築等について検討する。

- ・平成23年4月2日から4日までの3日間、石橋会長と川端事務局職員が岩手県に入り、状況を視察、支援体制の構築に向け検討を行う。